



青き楓

島高だより
平成 26 年 2 月号
(通巻第 95 号)
長崎県立島原高等学校
編集：情報図書部

校長随想 湧水抄

教育の「トライアングル」

校長 北浦剛資

島高生の「S」は「Smile」のS。島高生の保護者は、誇るべき集団である。

■学校と家庭の信頼関係

「PTA」の目的は何か。PTA規約の第1条に「本校生徒の教育の充実と福祉を増進すること」とあり、その前提として「会員(=保護者と教職員)一体となって」とある。子どもたちを立派に育てるためには、家庭と学校が同じ目的のもと、一人の子どもを両方から引っ張り上げようと努めるとともに、両者が互いに強い信頼関係で結ばなければならない。私はこれを「教育のトライアングル」と勝手に名付けたが、三角形は三辺が結ばれてこそ強固になるものだ。例えば、子どもがぼやく学校の先生の悪口に親が同調したり、あの親にしてこの子ありと教師が一方向的に非難したりしていたのでは、その間に立つ子どもがまともに育つはずがない。



■「炊き出し」『あらかぶと』『古城の森』

そんな懸念は島原高校の保護者には無用だ。学校への信頼度が高く、協力を惜しまない方が圧倒的に多いからである。例えば、校内マラソン大会の際の豚汁の炊き出し。島原農高から予め大鍋などの道具類を借りて運搬し、前日には調理室に大勢集まって下さりえをし、当日も早朝から駆けつけて準備をしてくださった。ゴボウは1本々々笹掻きにするなどすべて手作りで、愛情がたっぷりこもっていた。道具返却については、貸し手である島原農高の先生が逆にお礼をおっしゃるほど丁寧に片付けてあったという。さすがである。また、蒲池会長が発行されている役員・評議員への情報紙『あらかぶと』は、A5判二つ折り4ページに学校行事やPTAの動きなどをスマートにまとめてあるが、とにかく速い、とにかく頻繁、今年度だけで既に10号、会長5年通算で40号を突破した。他校には決して真似のできない芸当である。さらに、調査広報委員会が編集したPTAだより『古城の森』は県高P連会長賞を受賞した。チームワークの良さや担当者の意欲を感じさせる快挙である。

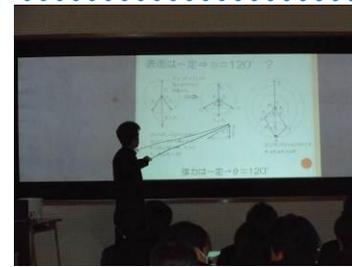
3月の主な行事予定

1日(土)	第66回卒業証書授与式	17日(月)	全国選抜大会壮行式
3日(月)	早朝補習再開(1・2年)	19日(水)	高校入試合格発表
5日(水)	体力テスト・身体測定(2年)	20日(木)	合格者テスト
6日(木)	体力テスト・身体測定(1年)		・保護者同伴説明会
8日(土)	土曜講座(1・2年)	21日(金)	春分の日
	公立大学中期試験	23日(日)	合唱部定期演奏会(文化会館)
11日(火)	高校入試・自宅学習(~13日)	24日(月)	終業式・離任式
12日(水)	国公立大学後期試験(3年)	25日(火)	登校自学(1・2年 ~26日)
14日(金)	地域清掃活動(1年)	27日(木)	全国選抜レスリング(~29日)
15日(土)	スタディーサポート(1年)		全国選抜剣道(~29日)
	土曜講座(2年)	28日(金)	国体リハーサル(バレ~29日)

理数科課題研究発表会

2月13日(木)に理数科2年生による課題研究発表会が行われました。今年度は数学3班、生物3班、化学2班、物理1班の計9班が発表を行いました。どの班も独自の視点から身の回りにおける自然現象を考察、研究しており、改めて考えさせられた素晴らしい発表会となりました。また、今回最優秀賞に選ばれた「翼とプロペラの研究(物理)」班と、「折り紙と作図の考察(数学)」班は、今年の6月に開催される長崎県理数科高等学校課題研究発表会で発表を行います。

九州大会出場を目指して今後も研究活動を頑張ってください!



* 研究内容紹介 *

👑 最優秀賞 👑

- * 翼とプロペラの研究 (物理)
- * 折り紙と作図の考察 (数学)
- * プラナリアの再生 (生物)
- * 垂木台地の植生調査 (生物)
- * 植物ホルモン (生物)
- * 図形に張るシャボン玉膜の性質をさがす (数学)
- * 再利用ガラス (化学)
- * ロイコ色素 (化学)

最優秀賞に選ばれた班は来年度6月に開催される長崎県大会で発表を行います。

剣道部

部活動実績

平成 25 年度九州高等学校選抜剣道大会

- 女子団体 優勝
- 優秀選手 牧島 凜太郎
- 進藤 暖佳 本多 愛
- 女子個人 優勝 進藤 暖佳
- 第2位 本多 愛
- 第3位 藤崎 薫子



全国高等学校選抜剣道大会長崎県予選

- 男子団体 優勝
- 女子団体 優勝
- 最優秀選手 藤野 聖那 堤 麻衣子
- 優秀選手 牧島 凜太郎 進藤 暖佳

レスリング部

全九州高等学校レスリング新人選手権大会

- 50kg級 第2位 岡田 幹大
- 55kg級 第2位 佐藤 輝翔
- 74kg級 第4位 上田 一志
- 84kg級 第5位 濱本 大徳



陸上部

長崎県高等学校新人体育大会駅伝競技の部

- 女子駅伝 第3位
- 区間賞 第1区 徳永 香子

雲仙100年の森 卒業記念植樹

雲仙 100 年の森づくりとは…平成2年11月から始まった雲仙普賢岳の噴火活動によって、普賢岳周辺の森が大きな被害を受けました。そこで、美しかった島原半島の森を蘇らせ、100年後の子どもたちに美しい自然を残し、噴火災害の猛威の記憶と、復興に立ち上がる勇気の大切さを伝えることを目的とし、開始されました。

島原高校では、卒業記念樹植樹としてこの活動に参加しています。今年も、3年生進路決定者が植樹を行いました。10年後、50年後、100年後…島高生たちが植樹した木が新たな雲仙普賢岳の自然を支えてくれることでしょう。



国公立前期試験

2月25日(火)に国公立大学前期日程試験が行われ国立大学、公立大学あわせて約110名の生徒が試験に臨みました。

多くの生徒は前日より各地に移動し、当日緊張した面持ちで試験会場に向かいました。試験中の空き時間も一生懸命勉強し、全力を出しきろうと試験に臨んでいました。3月上旬に合格発表が行われ、3月中旬には後期日程試験が行われます。「大丈夫、己自身の信じる道を！」66回生の桜満開を祈ります!!



試験会場入口
いよいよ始まります!



休憩中も勉強します!
最後まで頑張れー!!



小論文講演会

国語科 祝 利久

島原高校の総合的な学習の時間は、「自己と社会の接点に目を向け、主体的に将来の進路選択・進路設計に関わっていく力を育てる」ことを目標としています。小論文学習もその一環で、1～3年次まで年間の1/3程の時間を充てて取り組んでいます。いよいよ、推薦・一般入試における小論文受験を意識すべき時期を迎えた2年生を対象に、2月12日小論文講演会が行われました。講師は、(株)桐原書店小論文課主幹の中村真弓氏。



事前に昨年度の小論文入試問題（文系クラス→長崎大・教育・家庭専攻のもの、理系クラス→長崎大・医・保健学科のもの。ともに、今後のエネルギー問題に関する文章を読み、段階を追って小問に答えながら、最終的に自分の意見を論述するタイプの問題）にチャレンジした2年生の答案から、いくつかの作品を取り挙げて評価・アドバイスをいただきました。中村氏からは、①小さな設問も侮らず、問われていることに正確に答えていく。②課題文において現状と問題点がどう述べてあるかを正確に掴む。③②をもとに原因や背景を考え、今後の対策・解決策を具体的に述べる。④②の読み取りが確実だと③の分析や意見がブレない、といった基本的なアドバイスがあり、そうした視点を基に（受講する生徒たちと一緒に）答案の評価がなされました。

主体的に進路を設計していくことは、主体的に社会と関わっていくことでもあります。国際、政治経済、環境、情報通信、医療福祉等の情勢について知り、その分野を志望する高校生としての前向きな意見を紡ぎ出していけるよう、今後も学習を積み重ねていきます。

フィルタリングソフトを設定していますか？

スマートフォンや携帯電話によるトラブルが増えています。最近では、音楽プレーヤーやゲーム機にもインターネットに繋がるものが出ており、大人が知らないところでネット社会と繋がっている子どもたちが増えているようです。そのような背景のもと、事件・事故も増えているというわけです。

このようなトラブルに遭遇すると、気持ちよく日々の生活が過ごせなくなります。携帯電話やスマートフォンを持たせる場合は、大人の責任としてこのようなトラブルに遭わないようにする手立てが必要です。

お子様の携帯やスマホはフィルタリングソフトをきちんと設定していますか？ 子どもにせがまれて解除するケースが増えているようです。

よく分からない場合は、携帯電話の販売店等に相談し、きちんと設定してください。どうぞよろしくお願いいたします。

